令和6年度　江戸川区立小岩第三中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	◇自他を大切にし、思いやりのある人 ◇心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ◇積極的に学習し、考えて行動できる人 ◇文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	心を耕し、身体を鍛え、学力を伸ばす学校 あたたかい心をもつ、あいさつする、自律の精神をもち、自身で考えて行動できる生徒 人としてあたたかさ、優しさをもち、保護者や地域と連携しながら生徒の学力・体力の向上に尽力する教師
前年度までの本校の現状	成果： 1．ICTを活用した授業の推進が進んだ。 2．不登校対応が組織的に行われ、受け入れや支援の体制が整備された。	課題	1．学力向上を目指した取り組みを更に充実させる。 2．運動意欲を向上させる取り組みに努める。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進 ○基礎基本の習得 ○家庭での学習習慣を身に付けさせる	○主体的・対話的で深い学びについて校内で研修を行う。教科アドバイザーの授業観察と指導助言を受ける。 ○放課後補習教室の受講を推進し、数学・英語の基礎的事項の理解を図る。 ○定期考査の前に江戸川っ子study week!期間を設け、家庭学習の習慣を身に付ける。	○生徒への授業アンケートで、授業の理解度の肯定的回答が80%以上であること。 ○放課後補習教室の出席率80%以上。											
	○読書科の更なる充実	○朝読書の実施、学年ごとのブックトーク、ビブリオバトルの実施、ブックポスターの作成を行う。	○作成した成果物は学芸発表会等で掲示する。											
体力の向上	○基礎体力を高め運動意欲を向上させる	○体育授業の開始時に必ず補助運動を行う。また、体力調査の準備も計画的に行い、結果の向上に努める。また、生徒たちが楽しんで取り組めるダンスなどを取り入れる。	○全学年で都の体力調査の結果が都平均を上回ることを目指す。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動の推進	○教室を整理整頓し、使用教材もすべてUD化を図る。	○学期に1回は授業観察を行い、状況を把握する。											
	○日本語指導の充実	○個別指導、日本語教室に通う体制を整える。また、担当教員、指導員と密に連絡を取り、生徒の日本語理解度の把握に努める。	○日常会話に困らなず日本語で高校受験できるレベルを目指す。											
	○特別支援教育の充実	○校内委員会を定期開催し、生徒の情報共有と対応について検討する。副籍交流を通じて共生社会の理解を高める。	○校内委員会は時間割に設定し、基本的に毎週実施する。											

不登校・いじめ対応の充実	○不登校対応の充実	○不登校対応教員を中心に生活指導部会で対応を検討し、全教職員共通認識のうえで対応する。	○別室指導支援員、ステップサポーターの活用で登校支援や別室指導を充実させる。											
	○いじめの未然防止といじめの兆候への迅速な対応	○日常から生徒とコミュニケーションを取り、アンケートも定期的に行い、友達関係や悩みごとの把握に努める。兆候が見られたら、全教職員で組織的に対応する。	○全校生徒が学校に安心して通えると感じられることを目指す。											
	○hyper-QUの実施と活用	○年に2回hyper-QUを全学年で実施する。	○結果から学級の状況を把握し、学級学年経営に活用する。											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校ホームページの定期的な更新	○行事だけでなく日常の校内の様子を発信し、家庭や地域に知らせる。	○ホームページ担当が基本的に毎日更新する。											
	○学校関係者評価の実施	○学校評議員会で意見をもらい、教育活動の更なる充実と改善を図る。	○学校評議員会は年2回行い、その都度意見交換と評価を行う。											
	○学校公開の充実	○テトルやホームページで情報を発信し、保護者や地域の方々の参観を呼びかける。	○授業内容を事前連絡する。また、事後のアンケートを実施し、保護者や地域の意見や感想を次回に反映させる。											
特色ある教育の展開	○生徒の自主的な活動の推進	○生徒会役員や委員長などリーダーの自主的な活動を推進する。	○月に1回の生徒会朝礼を役員が運営し、委員会活動の報告をする。また、随時生徒会通信を発行する。											
	○働き方改革の推進	○定時退勤日の設定や、休暇の計画的な取得を推進する。	○定時退勤日は全員で声をかけ合う。お互い協力して休暇を取得し、心身のリフレッシュに努める。											